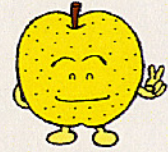


〇〇の気持ち



金沢市立鞍月小学校 中谷佳子

○学年・教科 5年 図画工作(8h)+情報(2h)

○ねらい

- ・「モノが何かを話しているとしたら」と想像し、顔として見立てる。
- ・コンピュータならでの表現を知り、その機能を生かしたパラパラアニメを製作する。
- ・場面の变化する作品の表現を楽しむ。


○活動の流れ

1. 学習内容を知る。
2. 気持ちにより表現がかわることを知る。
3. 顔に見立てたモノをデジカメで撮影する。写真をコンピュータに取り込み、デジタル・ワークカードに貼り付け、気持ちを書き込む。
4. 自分のベスト1ショットを選ぶ。
5. 画像処理ソフト(Photoshop Elements)で目、鼻、口、眉毛などを付け、吹き出しも付け、各フレームを作成し、パラパラアニメを完成させる。
6. ミニ発表会を設け、相互鑑賞をし、自分の作品に生かす。
7. 完成させた作品群を鑑賞する。
8. 友達と作品の感想を交換する。(デジタル・ワークカードへのコメント記入など)
9. Webサイトの他校の作品群を鑑賞し、作品の感想コメントを交換する。

<http://www.d-project.jp/project/portfolio/main.html>

「たわしダンサー」



11月18日(月) 名前 堀越翔	次の項目についてふり返りましょう。
*完成作品を貼り付けましょう。	*写真について(この写真を選んだわけも書きましょう) 使ったままおきざりになっていて、ひまそうで、一人でおどっているように見えたから。
	*色や形 色はよかったと思う。いろんな色を使えた。
ウェブページにのせる作品のコメント たわしが一人で楽しくおどっているようにできてよかった。たわしの気持ちがうまく表せたとおもった。	*ふざだしの言葉 うまくできた。一人で楽しんでいるようにできた。「どうだダンスうまいだろ。」
	*アニメのスピードは ちょっと遅かったかなーと思う
作品の題名 たわしの気持ち	自分の作品で「〇〇の気持ち」はうまく伝えることができたと思いますか。 (はい)